



予算特別委員会活動報告

当委員会では、「平成27年度千代田区一般会計補正予算第1号」について、議案審査を行いました。

補正予算の内容は「まち・ひと・しごと創生関連事業」「消費生活支援事業」「臨時福祉給付金」「子育て世帯臨時特例給付金」に関する経費として、1億1,283万7,000円を計上するものです。また、債務負担行為の補正として九段小学校・幼稚園の整備に関わる債務負担限度額を65億596万4,000円に変更するものです。

質疑の中で、①消費生活支援事業における東京都の地域消費喚起特別支援事業費補助金は、商品券やスタンプカード等のプレミアム分のみが対象であるため、区は、従来から支援事業として実施しているスタンプカードの配付枚数を増やす経費として計上したこと②臨時福祉給付金は、昨年度は煩雑な申請手続き等の理由から、支給率が約80%に留まったため、昨年の受給者で今年度も対象になった方には、本人の同意を前提に手続きを簡略化すること③債務負担行為の補正では、九段小学校・幼稚園の整備において、労務単価や建設コストの上昇という社会的要因や擁壁の追加工事が必要になったため、事業費を増加すること等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

本来、補正予算は緊急性や必要性等があって計上されるべきであるが、国の補助金なので使うという安易な理由で提案されたことから反対する。(木村)

【賛成の意見】

消費生活支援事業の拡充は、現時点で区の取り得る施策として、最も適切であることや他の補正予算で取り組む事業も適切な内容であることから賛成する。(永田)

九段小学校・幼稚園整備は、昨今の社会的要因の変化の対応や必要な設計変更が、児童や地域のことを十分に考慮した取り組みであることから賛成する。(内田)



本会議における討論(要旨)

今定例区議会では、次の3件の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 千代田区いじめ防止等のための基本条例

【反対の意見】

調査委員会の設置は評価するが、子どもたちの主体的な行動を促そうという視点が欠落し、原因や背景の究明よりも、いじめ禁止命令や取り締まりを重視している。また、いじめを防止する指導を保護者の責務としているが、家庭の中にまで踏み込むべきでない。以上の理由から反対する。(飯島)

【賛成の意見】

18歳以下のすべての子ども、学校以外の区施設等も対象とした点は、幅広いいじめ防止策としての効果が期待できる。また、新たに3つの附属機関を設置し、公正な調査を担保する

仕組みを構築したことも評価する。子どもたちを取り巻く危機的状況を踏まえ、本条例に賛成する。(小林や)

2. 「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書 【反対の意見】

法案では武力行使について、あくまで憲法の枠内での自衛の措置として新三要件を定めている。集団的自衛権を認めるものではない。また、後方支援についても自衛隊が戦争に巻き込まれないよう厳格なルールを定めている。よって、憲法違反との指摘はあてはまらないため反対する。(大甲)

集団的自衛権の行使容認は、憲法解釈としての論理的整合性等を維持しており、合理的な解釈の限界を超える解釈改憲ではない。また、この法案は国会での十分な審議と国民の理解が重要であるとして会期延長を図ったものであり、議会制民主主義に則ったものであることから反対する。(山田)

【賛成の意見】

衆議院憲法審査会に参考人招致された憲法学者全員が違憲と断じており、歴代の内閣法制局長官も違憲と述べている。また、全国の法律家達が165万人もの署名を集め、この法案に反対している。憲法9条はそもそも「集団的自衛権」という概念は想定していない。よって廃案に賛成する。(岩田)

3. 安全保障関連法案のより一層の丁寧な議論を求める意見書

【反対の意見】

戦後70年間、憲法によって守られてきた平和を、次世代に継承する責任がある。また、他国の攻撃に対し武力行使を可能にする安全保障関連法案について、多数の国民が危惧し反対している。その事実が全く記載されておらず、「丁寧な議論」という抽象的な表現の本意見書の提出に反対する。(寺沢)

「日本が再び海外で戦争をする国になるのではないか」という国民の不安に応え、法案の「慎重な議論を求める」ことは一定の意義を持つ。しかし、本意見書は集団的自衛権を認め、従来の憲法解釈の枠組みを超えた趣旨の関連法案を後押しする内容となっている。よって本意見書に反対する。(牛尾)

【賛成の意見】

我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、国民の安全を守るための必要な自衛措置とは何かを考えることは重要であり、徹底した議論を行って、国民の理解を得る必要がある。本意見書は国会及び政府において、本法案についてより一層の議論を行うことを求めており、賛成する。(桜井)

